

## FLT3 遺伝子変異を有する再発難治性急性骨髄性白血病に対する FLT3 阻害剤による治療に関する臨床データの研究利用についてのお願い

### 研究の概要・背景

FLT3 遺伝子変異を有する急性骨髄性白血病の予後は不良とされ、最適な治療法は確立されていない。同種造血幹細胞移植がこれらの白血病の予後を改善する可能性があるが、移植に至るまでの治療に難渋するケースが多く、また、移植ドナーが得られない場合や、移植適応とはならないご高齢の方の場合の治療選択は難しい。近年 FLT3 阻害剤が日本でも認可され、一定の治療成績が報告されているが、やはり FLT3 阻害剤で状態が改善しても、それだけではいずれ再発する 경우가大部分であり、FLT3 阻害剤を組み合わせた多剤併用療法や、同種移植へ向けた治療スケジュールの確立などが今後の検討課題と思われる。現在日本で認可されている FLT3 阻害剤には、ギルテリチニブとキザルチニブの二種類があり、当院でも 2019 年 2 月以降、FLT3 阻害剤を導入し、FLT3 遺伝子変異を有する再発難治性の急性骨髄性白血病の患者さまに対して使用経験を重ねてきており、臨床データや経過、予後などを解析したうえで、FLT3 阻害剤を利用した最適な治療スケジュールについて考察する。

### 試料・情報の利用目的・方法（他機関への提供を含む）

2023 年第 85 回日本血液学会学術集会において、結果を発表する。

### 対象者・期間

2019 年 2 月から 2023 年 3 月までの間、当院で FLT3 阻害剤を使用した全 8 例の患者さま

### データ利用のお願いと申し出について

これらの臨床データは通常の診療で記録されたもので、患者さんに新たな負担はありません。また、個人を特定できるような状態でデータを使用することはありません。本研究の目的と、臨床データ利用に関するご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

なお、本研究に関するさらなる説明をご希望の方、また、本研究において臨床データの利用を希望されない方は下記問い合わせ窓口にご連絡ください。研究不参加を申し出られたとしても、患者さんが不利益を受けることは一切ありません。

#### 【お問い合わせ先】

長岡赤十字病院

担当医師：黒羽高志

〒940-2085 新潟県長岡市千秋 2-297-1

電話：0258-28-3600(代)、FAX：0258-28-9000(代)